

品質性能試験報告書

試験名称	木造住宅用基礎に使用されるアンカーボルト「オメガアンカーボルト M16」の引張試験							
依頼者	株式会社タナカ							
試験体	試験体記号	アンカーボルト			住宅用基礎		数量	
	M16	寸法：全長；335mm 埋め込み深さ；200mm ねじ部；M16 軸部；φ14.5mm			寸法：135mm×400mm×3000mm コンクリート：呼び強度；21 普通 21 18 20 N (JIS A 5308)		3	
<p>(注) 1. 記載内容は、依頼者提出資料による。 2. 木造住宅用基礎は、基礎の立ち上がり部分（以下、基礎相当材という）を対象とした鉄筋コンクリート造である。</p> <p>参照：図-1（試験体） 表-1（コンクリートの圧縮強度試験結果及び配合）</p>								
試験方法	<p>概要：基礎相当材上面に埋め込まれたアンカーボルトにカプラー及び加力用鋼棒を取り付け、反力台、ジャッキ、球座及びロードセルを介して引張荷重を連続的に加えた。</p> <p>加力装置：センターホール型油圧ジャッキ、 センターホール型ロードセル（容量；300kN、非直線性；0.2%RO、ヒステリシス；0.2%RO）</p> <p>測定装置：電気式変位計（容量；50mm、感度；200×10^{-6}/mm、非直線性；0.1%RO）及びデータロガー</p> <p>参照：写真-1（試験方法）</p>							
試験結果	試験体		基礎相当材のひび割れ発生時		最大荷重時		破壊状況	基礎相当材のコンクリート圧縮強度（ σ_c ） N/mm ²
	記号	番号	荷重（P） kN	変位（ δ ） mm	荷重（Pmax） kN	変位（ δ_{max} ） mm		
	M16	1	59.9	0.8	86.1	9.3	基礎相当材のコーン状及び上面ひび割れを伴うアンカーボルトの引抜け	23.7 (表-1)
		2	62.4	1.5	77.7	6.4		
		3	69.2	1.0	81.5	5.8		
平均		63.8	1.1	81.8	7.2	—	—	
参照：図-2（荷重-変位曲線） 写真-2～写真-4（破壊状況）								
試験期間	平成24年 3月27日							
担当者	構造グループ 統括リーダー 川 上 修 統括リーダー代理 赤 城 立 也 主 任 中 村 陽 介（主担当） 大 西 智 哲							
試験場所	中央試験所							